

つる 都留市 議会議だより

都留いきいきフェスティバル2022

増田誠大賞 議長賞



小中学生の部
「ニジイロトカゲ」 名取 結希翔



一般の部
「身体も」 佐藤 歩咲

臨時会・定例会議案議決結果 他…2	臨時会・定例会議案議決結果…11
市長所信表明……………4	各委員会の審査内容と結果……………12
代表質問……………5	議会活動報告 他……………16
一般質問……………7	議会日誌 他……………17
議会に関する市民アンケート…9	未来を紡ぐ～若者×議会～ 他……………18

令和4年7月臨時会で 決まった主なこと

補正予算（3件）

議第50号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第3号）

■1億2千600万円を追加

《主な歳出の内容》

●民生費

生活困窮者緊急生活支援金給付事業

6千600万円を追加

生活困窮者及び家計急変世帯に対して1世帯あたり1万5千円を支給します。

●衛生費

水道料金の基本料金を4か月間免除するための、水道事業会計及び簡易水道事業会計への繰出金

6千万円を追加

●教育費

令和4年度の小中学生の学校給食費のうち、5～10期の支払いを免除します。

議第51号 令和4年度都留市水道事業会計補正予算（第1号）

■56万4千円を追加

《主な歳出の内容》

水道料金の基本料金を4か月間免除します。

議第52号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算（第2号）

■243万6千円を追加

《主な歳出の内容》

水道料金の基本料金を4か月間免除します。



令和4年9月定例会で 決まった主なこと

条例改正（4件）

議第53号 都留市職員の育児休業等に関する条例中改正の件

議第54号 都留市税条例等中改正の件

議第55号 都留市立学校設置条例中改正の件

議第56号 都留市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件

補正予算（5件）

議第58号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第4号）

■10億6千156万9千円を追加

《主な歳出の内容》

●総務費

ふるさと納税寄附金事業の増額やLINEアプリを基盤とした各種予約システムの構築、マイナンバーカード普及促進のための出張申請支援などの経費

8億8千991万4千円を追加

●民生費

田原交流センター内の子育て支援スペースの整備に要する経費など

827万9千円を追加

●衛生費

新たな水道施設の整備や水質検査に要する経費（田原・上谷及び下谷地区の一部など）

7千807万6千円を追加

●農林水産業費

都留西部地区の農業生産基盤と生活環境を総合的に整備する費用

300万円を追加

● 商工費

キャッシュレス決済による還元キャンペーンを実施します。

7千万円を追加

● 土木費

杉の木沢河川（小野地区）における自然災害防止や急傾斜地崩落対策の経費

850万円を追加

● 教育費

学びのみらいづくり事業において企業人材の派遣を受けるための経費

380万円を追加

議第59号 令和4年度都留市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

■ 3千502万1千円を追加

国庫支出金等の償還金

議第60号 令和4年度都留市水道事業会計補正予算（第2号）

■ 8千650万円を追加

滝下浄水場敷地内に新たな水源施設を整備します。

議第61号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算（第3号）

■ 1億359万円を追加

水道管の移設、付け替え経費

議第63号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第5号）

■ 1億624万5千円を追加

● 衛生費

新型コロナウイルス感染症にかかる12歳以上を

対象としたオミクロン株対応ワクチン接種、

小児（5～11歳）の追加接種（3回目）、

乳幼児の初回接種（1・2回目）を10月から

開始するための経費



決算認定（5件）

認第1号 令和3年度都留市各会計歳入歳出決算認定の件

認第2号 令和3年度都留市水道事業会計決算認定の件

認第3号 令和3年度都留市簡易水道事業会計決算認定の件

認第4号 令和3年度都留市下水道事業会計決算認定の件

認第5号 令和3年度都留市病院事業会計決算認定の件

その他（2件）

議第57号 指定管理者の指定の件（田原交流センター）

団体の名称

kibari 合同会社

指定期間 令和5年4月1日から

令和10年3月31日まで（5年間）

議第62号

契約締結の件（都留市保健福祉センター改修工事 第一期工事）

契約金額 154,000,000円

工期 令和4年9月26日から

令和5年3月15日まで

請願・陳情（1件）

議員提出意見書案第3号

加配定数の振り替えによらない小学校三十五

人学級の実施、中学校での三十五人学級の実

施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負

担制度拡充を図るための意見書

人事案件（1件）

諮問第1号 人権擁護委員の推薦について意見

を求める件

○人権擁護委員

桂町 志村 武寛

議会に関する市民アンケートを実施します

令和4年度議会報告会は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し、中止することとし、代替事業として「議会に関する市民アンケート」を実施いたします。

市議会議員は市民の皆さんから信託を受けた代表です。皆さんが日頃お考えになっていること、感じていらっしゃることを市議会へお寄せください。

※アンケートの回答は、9～10ページのアンケート用紙をご利用ください。また、市ホームページの特設ページからもご回答いただけます。



市長の所信表明



企業誘致へ向けた取り組みを進める厚原牛石地区

○「企業誘致」について

「豊かな産業のあるまちづくり」の実現に向け企業誘致を推進していくため、8月に県の担当者を引き、市職員を対象とした「地域未来投資促進法による企業誘致研修会」を開催し、共通認識を図るとともに、現時点での課題等の整理とあわせ厚原牛石地区への企業誘致のための庁内プロジェクトチームを立ち上げた。

今後は、このプロジェクトチームを中心に、産業振興と農業振興の調和を図り、地域の特性を生かした高い付加価値を創出する中で、「地域未来投資促進法」を活用し、スピード感を持って取り組みを進め、地域経済の循環促進と持続化並びに地域雇用の創出を目指していく。

○「人口減少対策」について

6月29日付けの山梨日日新聞に、令和2年国勢調査における県人口移動集計に関する記事が掲載された。記事によると、平成27年の前回調査からの5年間に於いて、県内27市町村のうち13市町村において、転出者が転入者を上回る「転出超過」である中、本市は転入者が転出者を307人上回る「転入超過」となっており、転入者数の多さも県内7番目であった。

今回の調査対象期間は、「生涯活躍のまち・つる事業」をはじめとした各種取り組みを本格化させ

せた時期でもあり、これまでの取り組みについて、確実な成果が上がっていることの証左として、大変喜ばしく受け止めている。

今後もし引き続き多くの皆様に選ばれる「まち」となるよう、産業振興や、出産・子育て支援など、各種取り組みを推進し、人口減少に歯止めを掛け、「持続可能な都留市」を築いていく。

○「複合型居住プロジェクト」について

田原四丁目地内で進めている「生涯活躍のまち・つる事業」の「複合型居住プロジェクト」は、エリア全体の造成工事と田原交流センターの建設工事が順調に進捗しており、この施設の指定管理者は、本定例会にて決定いただき次第、来年度からの供用開始に向け、準備に取り掛かる。また、センター内に開設する子育て支援機能の部分を担う事業者も9月末頃から公募予定であり、来年度からは、人々の集う拠点施設の各機能が同時に動き出すこととなる。

一方、エリア内に整備する都留文科大附属施設は、長らく大学法人側と協議を進めてきたが、大学の将来のあるべき姿として、地域貢献色を強く打ち出すための新たな拠点として整備することとし、大学の地域交流研究センターの機能、国際交流センターの機能、家庭科実験室等の教室、学生が夜間や雨天時にも活動できるスペースなどを備えた、地域連携型の施設を整備する方向との報告があった。

今後は、こうした施設群の多角的かつ効果的な連携手法を模索し、エリアを中心とした活性化を進め、人が集い、学べる拠点エリアとして市民の皆様への心の拠り所となるよう取り組んでいく。

総合運動公園の進捗状況は



ビジョン21 奥秋 保 議員

問 大型遊具を備えた公園の整備状況は。

答 公園に関する市民アンケートを実施し、現地測量等を行いながら、公園の配置や形状、植栽等の基本計画を本年度中に策定する。令和6年度に公園整備工事に着手し、令和7年度の供用開始に向け取り組んでいる。

問 公園整備費用を調達するためのクラウド・ファンディングの今日までの状況は。

答 昨年10月から本年2月28日までの間、目標金額を7千万円に設定したクラウド・ファンディングを実施したところ、全国2千849人の方々から目標額の177パーセントにあたる1億2千401万5千円の寄附をいただいた。この寄附金は、総合運動公園内の公園整備の財源として活用するほか、子どもの遊び場・居場所確保のために使わせていただく。

問 都留市に移住したくなるような総合運動公園づくりへの展望は。

答 複合型居住プロジェクトエリアには、これまでになかった子どもから高齢者までの多世代が交流し、楽しめる場を創出することが可能となる。施設の連携・活用を図り、多くの人が集い賑わえる場の創出を目指し、子育てしやすく、生涯にわたり健康で文化的な

生活を送れるまちづくりを進めていく。

地域公共交通について

問 地域公共交通計画の進捗状況は。

答 令和7年度からは地域公共交通計画の策定が必須となったことなどから、本年度より2か年をかけた新しい計画策定業務に取りかかっている。本年度中には、人口動態、主に需要やニーズ調査を実施し、現在の地域公共交通の最適解を検討する。

問 今後のスケジュールとビジョンは。

答 都留市地域公共交通活性化協議会において基本方針・基本目標の検討を行い、その後、実施施策の体系として、施策の協議、実証実験及び効果検証等を行い、将来的な公共交通ネットワークの姿を計画に取りまとめ、本市にマッチした新しい地域公共交通の計画策定に取り組んでいく。



マイナンバーカードについて

問 マイナンバーカードを取得することのメリットは。

答 カード保有のメリットは、顔写真付きの本人確認書類となり、各種手続きの際に提示を求められる身分証明書となる。また、健康保健証として利用することができ、10月からは医療費の窓口負担が軽減されることとなっている。全国のコンビニエンスストアにて住民票の写しと印鑑証明の取得、確定申告などのオンライン行政手続きなども可能となるほか、警視庁では、運転免許証との一体化を進めており、令和6年度末からの運用開始を目指している。

問 マイナンバーカードの普及に向けてどのように取り組んで行くのか。

答 広報つるやCATVなどを活用して、周知活動を進めるとともに、企業、団体等で5人以上の方が集まる場所への出張申請や申請サポートを行っている。今後は申請交付の機会を増やすため、土曜、日曜日に市役所以外の公共施設等で申請業務ができるようにしていく。

地方創生臨時交付金の 本市の取り組みを問う



つる清流会 日向 美徳 議員

問 今後の本市の交付金の活用について。

答 地方創生臨時交付金は、今後も配分が見込まれており、経済状況などを総合的に判断する中、より重要性が高く、市民ニーズにあった支援策へ重点的に配分していく。

問 市民に対する交付金の使い道の「見える化」や公表の考えは。

答 市のホームページ上で交付金の実施状況と効果検証について公表をしているが、市民によりわかりやすい公表方法について検討し、「見える化」を図っていく。

問 子ども食堂に関して、テイクアウトの商品の提供や設置箇所の増設の考えは。

答 市内の子ども食堂では、通常の活動に加え、テイクアウトによる食事の提供にも対応したと聞いている。また、子ども食堂の開設を検討する団体等については、相談や運営支援を行っていく。

問 自治会館等へのWiFi環境の設置の考えは。

答 自治会において、維持管理を行う上でWiFi整備を希望する場合には、「特色ある自治会づくり事業」の補助金の活用をお願いする。

問 プレミアム商品券など市民生活に直結している事業を期待しているが、今後の対応は。

答 9月9日発表の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の中に、新たに電気・ガス、食料品等の価格高騰重点支援地方交付金の創設が決定されたところであり、今後施策を検討し交付金を活用していく。

旭小学校、禾生第二小学校の統合について

問 スクールバス運行の協議経過は。

答 現在、教育委員会内で便数、ルート、乗降場所等について協議を行っている。登校時には、大平、朝日、曾雌經由、禾生第一小学校行のバスを1便、下校時は午後4時に禾生第一小学校を出発する便を1便増やすことを基本に検討している。

問 スクールバスの安全な乗降場所の検討は。

答 旭小学校の児童は、基本的に、都留第二中学校と同じ場所での乗降を予定しているが、詳細は保護者と協議し、決定する。これまでも、学校や保護者などから要望があった場合は、安全面を考慮しながら適宜、変更

を行っているため、子どもたちが安全に登校できるよう可能な限り対応する。

「ぴゅあ富士」の譲渡について

問 県の大規模改修・長寿命化改修の工事内容と概要は。

答 外壁の全面洗浄及び浮いたタイルの補修、空調設備機器やエレベーターの更新、LED化など、主要設備の改修を実施することとなっており、今後、長期にわたり大規模改修の必要性はなく活用できる。リニューアル後の開館は令和6年4月の予定。

問 改修後の施設概要は。

答 1階に市教育委員会及び教育研修センターを配置し、県へは、1階の託児室、2階北側の調理実習室、図書室及び工芸美術室部分を貸し付ける方向で調整している。

なお、教育委員会移転による本庁舎再編は、産業課を庁舎2階の現教育委員会スペースへ、北別館の上下水道課を庁舎1階の現産業課スペースへ移動する方向で調整している。



医療機関に求められる 「働き方改革」 とは

山本 美正 議員



問 改革に取り組みないことにより想定される課題は。

答 国で定めた法律に沿って、長時間労働が常態化し、かつ休日確保が困難な医師の働き方を改善するため、政府主導で進めていく取り組みである。適用は令和6年4月からとされている。

問 どのような改革が求められるか。

答 まずは、常勤医師の時間外労働時間の削減と休日の確保のために、勤務形態を見直すことが必須である。そのためには、診療提供体制の見直しも必要となることから、現在、院内にて具体的な検討を始めている。

問 病院経営に対する影響は。

答 医療収益の減収が想定されることから、院内において市民の健康維持や予防医療などのニーズに 대응されるような医療サービスの拡充等を検討するなど、今後も経営改善に取り組むとともに、医師をはじめ医療職の働き方改革を積極的に推進し、働きやすい職場を実現すること
で、中・長期的に安定した医療を提供できる体制を構築していく。



傍聴席の声

市外から参加させていただきましたが大変勉強になりありがとうございました。
現在介護関係の仕事についておりますので詳しい状況など聴くことが出来よかったですと思います。
(市外 S.Nさん)

議会を傍聴 しませんか?

次回の定例会は、
11月30日(水)午前10時
開会予定です。



過去の議会だよりや会議録はホームページでご覧いただけます。



市議会ホームページ



会議録検索システム

「学校給食」について



小俣 武 議員

問 地産地消の割合は。

答 学校給食で使用する野菜は、規格や品種を揃え大量に用意する必要があり、野菜の種類によつては、収穫時期が夏休み期間中のため、生産者と使用時期が合わない場合などもあり、例年、地元野菜の使用率は、全体の約10パーセント程度である。

問 本年度の無償化対策における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の利用状況は。

答 今回行った給食費の無償化分については、総額5千600万円を充てている。

問 食材値上げへの対応は。

答 食材単価は多くの食材で値上がりしている状況となっているが、農林水産省の実施している魚の無償提供（緊急対策事業）や、県農政部の県産肉の無償提供事業などを活用し、質を落とす事なく提供できるように努めている。

問 来年度以降の給食費補助の方向性は。

答 学校給食費を軽減するためには、安定した財源の確保が必要となるため、今後、どのような施策を重点化するなど、検討していく。



複合型施設の公園整備を問う



小林 健太 議員

問 大規模遊具の計画は。

答 基本計画案では、「インクルーシブ遊具」「児童用遊具」「高齢者用遊具」といった幅広い世代で利用できるよう計画しているが、今後実施予定の子育て世代を対象としたアンケートで市民ニーズを的確に把握し選定する。

問 稼げる公園づくりについて。

答 公園内への店舗整備の予定はないが、隣接する「田原交流センター」にカフェ等の出店を予定している。交流センターの指定管理者と十分な協議を行い、市民が憩える場の創出に努める。

問 公園と湧水について。

答 市のPRにつながり得るものとするため、「田原交流センター」敷地内の芝生広場に、湧水を活用した水遊びスペースを整備する。

問 スポーツ環境の整備について。

答 エクストリームスポーツの施設整備計画はないが、既存施設を活用したスケートボード教室等の実施を検討し、需要の高まりを見極め、整備について調査・検討を進める。



部活動改革について

問 少子化問題による部活動の制限、教員の働き方改革、ガイドライン、スポーツの多様性、保護者の費用負担について。

答 少子化による部活動の縮小に伴う生徒の部活動離れや教師の働き方改革等に対応するため、部活動の地域移行に向けた準備を進める。今後、検討組織を立ち上げるが、生徒が多様なスポーツを体験できる機会を構築するという観点に立ち、保護者の負担軽減策なども含め協議していく。

差出有効期限
令和4年12月
16日まで
(切手不要)



料金受取人払



4
0
2
8
7
9
0

都留市議会

都留市役所内

都留市議会事務局



期限 令和4年11月30日(水)まで



市議会議員は市民の皆さんから信託を受けた代表です。
皆さんが日頃お考えになっていること、
感じていらっしゃることを市議会へお寄せください。

※令和4年度議会報告会は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し、
中止することとし、代替事業として「議会に関する市民アンケート」を実施いたします。

問合せ先 都留市議会事務局
☎43-1111 (内線 301)

議会に関する市民アンケート

【性別】 男性・女性

【年代】

代 【地区】

地区

※回答にあたっては、あてはまるものに☑をお願いいたします。

Q1 あなたは市議会に関心がありますか。

ある 少しある どちらともいえない あまりない ない

(→理由)

Q2 市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。あなたは傍聴したことがありますか。

ある ない 傍聴できることを知らない

Q3 あなたは市議会の活動や情報をどのような方法で得ていますか。

議会だよりや市ホームページ 議会報告会 新聞などのマスメディア
議員個人のホームページやSNS 情報は得ていない

Q4 あなたは市民の声が市議会に反映されていると思いますか。

思う 少し思う あまり思わない 思わない わからない

(→理由)

Q5 あなたは議員や市議会に何を期待しますか。

市政のチェック 市や市民の利益になるような政策提言や政策立案
市民意見の市政への反映 市民への情報提供
その他 ()

Q6 あなたは現在の市議会を評価できると思いますか。

思う 少し思う あまり思わない 思わない わからない

(→理由)

Q7 議員定数や報酬は適当だと思いますか。

【定数】思う 少し思う あまり思わない 思わない どちらとも言えない
↳ (人が適当) ↳ (人が適当)

【報酬】思う 少し思う あまり思わない 思わない どちらとも言えない

Q8 あなたが求める議会改革についてお聞かせください。

市政のチェック機能向上 政策提言や政策立案機能向上
ホームページや議会だよりの充実 議会報告会の充実
議会のライブ中継や録画放送の充実
その他 ()

●市議会に対するご意見やご要望をお聞かせください (自由記述)

.....
.....
.....
.....
.....

※ご意見・ご要望への回答をさせていただきますので、連絡先のご記入をお願いいたします。

(いただいた個人情報は、他の目的に使用することはありません。)

(ご住所)

(お名前)

(電話番号)

7月臨時会議決結果

(議員別賛否を含む)

区分	議案等名	議員名 議決結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
			一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武	
市長提出	議第50号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第51号 令和4年度都留市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	議第52号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○

9月定例会議決結果

(議員別賛否を含む)

市長提出	議第53号 都留市職員の育児休業等に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第54号 都留市税条例等中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第55号 都留市立学校設置条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第56号 都留市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第57号 指定管理者の指定の件 (田原交流センター)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第58号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第59号 令和4年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第60号 令和4年度都留市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第61号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認第1号 令和3年度都留市各会計歳入歳出決算認定の件	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認第2号 令和3年度都留市水道事業会計決算認定の件	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認第3号 令和3年度都留市簡易水道事業会計決算認定の件	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認第4号 令和3年度都留市下水道事業会計決算認定の件	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認第5号 令和3年度都留市病院事業会計決算認定の件	認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第62号 契約締結の件(都留市保健福祉センター改修工事 第一期工事)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第63号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第1号 人権擁護委員の推薦について意見を求める件	同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	請願第3号 加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出意見書案第3号 加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長は採決に加わりません。

委員長：小林 健太 副委員長：小俣 哲夫
委員：小俣 武、国田 正己、鈴木 孝昌、藤江 喜美子、山本 美正、天野 利夫

付託された議案6件(条例改正2件、補正予算1件、事業会計補正予算2件、その他1件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

※委員会では、都留市職員の育児休業等に関する条例中改正の件、令和4年度一般会計補正予算の一部では、「キャッシュレス決済ポイント還元事業」など慎重な審査が行われました。
また、「指定管理者の指定の件(田原交流センター)」では、多くの質疑が行われました。

■審査した議案(付託議案)

- ・ 議第53号 都留市職員の育児休業等に関する条例中改正の件
- ・ 議第56号 都留市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件
- ・ 議第57号 指定管理者の指定の件(田原交流センター)
- ・ 議第58号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第4号)
- ・ 議第60号 令和4年度都留市水道事業会計補正予算(第2号)
- ・ 議第61号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第3号)



委員会の様子

※議第58号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第4号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。



定例会と臨時会の違いは？

定例会は、案件のあるなしにかかわらず、3月、6月、9月、12月の年4回招集することになっています。

一方、臨時会は、必要がある場合にのみ招集されるもので、そこではあらかじめ告示された付議事件や緊急事件に限って審議を行います。臨時会は目的が限定されていることから、定例会とは違って、一般質問等はできません。

社会厚生

常任委員会

9月14日
午後1時30分から

委員長：小澤 眞 副委員長：日向 美德
委員：小俣 義之、谷垣 喜一、藤本 明久、奥秋 保、志村 武彦、山口 一裕

付託された議案 4 件(条例改正 2 件、補正予算 1 件、事業会計補正予算 1 件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。
また、請願 1 件については、「採択」すべきものとしました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第54号 都留市税条例等中改正の件
- ・議第55号 都留市立学校設置条例中改正の件
- ・議第58号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第4号)
- ・議第59号 令和4年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・請願第3号 加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書



委員会の様子

※議第58号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第4号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

主な質疑内容

■議第58号 都留市一般会計補正予算(第4号)

【マイナンバーカード出張申請サポート事業】

問 5名以上集まれば、企業や自治会などにも出向いてくれるのか。

答 5名程度の人数が集まれば、企業や自治会、市民の各種グループやサークルなどにも出向いて申請のサポートをさせていただくので、ご利用いただきたい。



【環境保全対策費】ETBEの追加
問 予算の説明で、水質検査を毎週一回行っていくとあったが、いつ頃まで実施するのか。

答 計画では、令和4年度中に92回行う予定。また、土壌ガス分析も行い全力を挙げて取組み、原因を究明したい。



決 算

特別委員会

9月15・16・20日
午前10時から

委員長：奥秋 保 副委員長：小俣 哲夫
委員：小俣 武、国田 正己、鈴木 孝昌、藤本 明久、藤江 喜美子、小澤 眞、山本 美正、日向 美徳、小林 健太、志村 武彦、山口 一裕

付託された認定審査5件について、慎重に審査した結果、財政面においては、全庁を挙げて財源確保に努め、財政の健全化に取り組んだ結果により、特に将来負担比率が「ゼロ」という水準に達したことは大いに評価すべきものである。引き続き、財政運営に努めていただき、今後予定している主要事業や財政費用の増大を考慮しながら今後の予算編成及び予算執行などに反映されるよう望み、全てを原案どおり認定しました。

■審査した議案(付託議案)

- ・認第1号 令和3年度 都留市各会計歳入歳出決算認定の件
- ・認第2号 令和3年度 都留市水道事業会計決算認定の件
- ・認第3号 令和3年度 都留市簡易水道事業会計決算認定の件
- ・認第4号 令和3年度 都留市下水道事業会計決算認定の件
- ・認第5号 令和3年度 都留市病院事業会計決算認定の件



委員会の様子

●市長あいさつ●

「令和3年度決算」は、厳しい財政状況の中においても、主要事業や公共施設等の老朽化による財政需要の増大を考慮しながらも「市債残高の縮減」や「基金積立」など、将来を見据えた財政基盤の強化に努め、財政の健全化については、「実質公債費比率」と「将来負担比率」は引き続き改善し、特に「将来負担比率」は、「ゼロ」という水準に達した。

今後も社会保障費の増加や公共施設の長寿命化計画等による投資的経費の増加、そして、感染症対策、また、これに伴う地域経済活性化対策等、多額の財政需要が見込まれるが、より一層の計画的な財政運営を図り、限られた財源を効果的に活用し、基本構想に掲げる将来像である「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」の実現に向け、「まちづくりの方向」に示す6つの取組分野に対し、「最少の経費で最大の効果」が発揮される施策への投資を図りながら、着実に実行していく。

まちづくりの6つの方向性

- 1 創ります！しごととくらしの充実したまち（産業・基盤分野）
- 2 育みます！優しさと元気のまち（福祉・子育て・健康分野）
- 3 輝かせます！学びあふれる つるのまち（教育分野）
- 4 繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち（生活・環境分野）
- 5 紡ぎます！人と人のつながりのまち（安全・安心、コミュニティ分野）
- 6 実行します！新しいステージへ（行財政分野）

令和3年度 決算状況

一般会計	187億1,856万5,414円
9特別会計	65億7,284万3,390円
4企業会計	64億6,337万8,281円

総決算額 317億5,478万7,085円

主な質疑内容

■ 認第1号 令和3年度一般会計 歳入歳出決算認定の件など

〔防災行政無線管理事業〕

問 防災無線による情報発信時の高齢者に対する対応は。

答 高齢者への対応を市がすべて行うのは、難しいところがある。自主防災会や消防団へ声掛けをし、対応等認識していただけるよう啓発を行っていく。

〔地域おこし協力隊推進事業〕

問 定住後に起業した事業者等への支援について。

答 新製品をつくるための補助を構築したり、市とのタイアップなど、町の活性化に一役を担っていただいている。

〔新型コロナウイルス感染症対策事業（住民税非課税世帯等支援対策）〕

問 住民税非課税世帯への支援対策は。

答 令和3年度と令和4年度の非課税世帯に対して給付を行っている。

〔寿賀祝事業〕

問 祝品（商品券）を使用できる事業者の数は。

答 上谷・中谷・下谷地区で109、東桂地区11、宝・禾生地区25、三吉開地区で5の合計150か所である。

〔放課後児童健全育成事業〕

問 旭小学校と禾生第一小学校が統合した後、学童はどうなるか。

答 旭小学校区の学童保育は残していく方向である。



〔新型コロナウイルス感染症対策事業〕

問 第2弾・第3弾「コロナに負けるな！市民生活応援商品券」の使用状況は。

答 第2弾の換金額が1億5千795万4千円で、使用率99・04パーセント、第3弾の換金額は2億9千585

万5千円で、使用率は96・4パーセントであり若干低い状況である。

〔教育委員会費〕

問 小中学校適正規模・適正配置における文大附属小と宝小学校の今後の方向性は。

答 適正規模・適正配置の実施方針は、短期中期長期で方針を示しており、1番統合が必要だところが旭小学校と文大附属小学校となっている。

〔病院事業会計（介護老人保健事業）〕

問 昨年の介護老人保健施設「つる」の長期入所者3万2556人、一日平均約90人だが、入所できない高齢者もたくさんいる。90人でいっぱいなのか。

答 ベッドの数は100ある。前年度と比較すると、向上しているが、より多くの方が入所できるように取り組んで行く。



〇都留市議会と都留文科大学との意見交換会

■8月23日 都留市議会と都留文科大学との意見交換会を開催しました

都留文科大学の法人理事長、大学学長、副学長等の出席を得て、3年ぶりの意見交換会を開催しました。意見交換会では、「本学の現状等について」と題し、都留文科大学の現在と将来展望について、学部・学科改編について、施設整備の状況についてなどの説明を受け、その後、活発な質疑応答が取り交わされました。

(質疑の内容)

複合型居住プロジェクト大学関連施設について、IB 資格の取得について、全国的な教職員不足と進路指導について、今後の施設改修について、都留文科大学附属小学校との連携について、留学先について、大学の無償化について、少子化と学校運営についてなどの質疑が交わされました。



〇タブレット端末操作研修会

■10月7日 タブレット端末操作研修会を開催しました

都留市議会では、令和2年1月より議会改革特別委員会内にICT化小委員会を設置し、議会のICT化について、13回の会議を重ね、会議資料のペーパーレス化はもとより、コロナを含む災害時におけるタブレットの有効性や議員活動での効果などについて、熟議を重ねてきました。

12月定例会からの紙ベースの資料との併用稼働実施に向け、16名の議員が同じように議場や委員会で「ペーパーレス会議システム」を使用できるように、操作研修会を開催しました。



議 会 日 誌

7月



- 1日(金) 議会だより編集委員会
- 2日(土) 第54回都留市体育祭り開会式
- 8日(金) 令和4年度都留市交通対策推進協議会定期総会(書面会議)
- 11日(月) 山梨県高齢者医療医療広域連合臨時会
- 12日(火) 議会運営委員会 全員協議会 7月臨時会
- 19日(火) 議会だより編集委員会
- 21日(木) 大月都留広域事務組合議会 7月定例会
- 25日(月) 水道運営委員会 下水道運営委員会
- 28日(木) 愛媛県西予市議会総務常任委員会行政視察

8月



- 1日(月) リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会
- 3日(水) 山梨県市議会議長会 議長・事務局長会議
山梨県高速道路整備促進期成同盟会
- 4日(木) 国民健康保険運営協議会(書面会議)
- 5日(金) ICT化小委員会
- 7日(日) 第90回都留市町別野球大会開会式
- 19日(金) 富士・東部広域環境事務組合 議員全員協議会・定例会

- 19日(金) ふるさと時代祭り臨時総会
- 23日(火) 都留文科大学との意見交換会
民生委員推薦会
- 29日(月) 議会運営委員会 全員協議会
- 31日(水) 9月定例会開会

9月



- 4日(日) 第90回都留市町別野球大会閉会式
- 7日(水) ICT化小委員会
- 12日(月) 代表質問
- 13日(火) 一般質問
- 14日(水) 総務産業建設常任委員会
社会厚生常任委員会
- 15日(木) 決算特別委員会
- 16日(金) 決算特別委員会
- 20日(火) 決算特別委員会
- 26日(月) 議会運営委員会 全員協議会 9月定例会閉会 議会改革特別委員会
- 28日(水) 富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会第2回総会(書面会議)

7月臨時会会期日程

7月12日 本会議

(開会)

- ◎ 会議録署名議員の指名
- ◎ 会期の決定
- ◎ 提出議案の市長説明
- ◎ 議案審議

9月定例会会期日程

8月31日 本会議

(開会)

- ◎ 会議録署名議員の指名
- ◎ 会期の決定
- ◎ 提出議案の市長説明並びに所信表明
- ◎ 議案及び請願の委員会付託

9月12日 本会議

◎ 代表質問

9月13日 本会議

◎ 一般質問

9月14日 総務産業建設常任委員会

9月15日 社会厚生常任委員会

9月16日 決算特別委員会

9月20日 決算特別委員会

9月26日 本会議

(閉会)

- ◎ 委員長報告
- ◎ 議案審議

各会議等における議員の欠席日数状況報告

(R4.7月~9月)

	山口 一裕	小俣 哲夫	志村 武彦	小林 健太	日向 美徳	天野 利夫	奥秋 保	山本 美正	小澤 眞	藤江喜美子	藤本 明久	鈴木 孝昌	谷垣 喜一	国田 正己	小俣 義之	小俣 武
本 会 議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
常 任 委 員 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特 別 委 員 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 員 協 議 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
議 員 研 修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



都留文科大学
文学部国際教育学科 3年
米野 翼さん

これからの都留市に望むこと

私は現在デンマークに留学をしています。その中で都留市の魅力を改めて感じます。

美しい自然に囲まれていること、人と人の心の距離が良い意味で近いことなどから、多くの幸福を得られます。そしてゆったりと生きることができます。生きるスピードがゆっくりであるデンマークと似たところを感じます。

都留市には、このゆったりで自然との調和を強みとしつつ、経済発展で若者が集まる活気を生み出していく体制を創ることを望みます。



都留文科大学
文学部英文学科 4年
峯岸 実咲さん

選挙権や議会制度について感じていること

未だ終わりの見えないコロナ禍が続く現在ですが、いつの時代も少しでも生きやすい環境を求めて期待を寄せる先が政治だと思っています。

しかし、市民の声を反映させるための議会制度や政治そのものへの信頼が揺らぐような出来事や瞬間が多くあるのも事実です。

そうした中で、不安や不信感を抱き、声を上げることをあきらめずに、選挙権の行使などを通して少しでも自分の意見を表明し続けていきたいと思えます。

次期定例会及び請願提出について

12月定例会日程（予定）

- 開 会 11月30日(水)
- 代表質問 12月12日(月)
- 一般質問 12月13日(火)
- 閉 会 12月16日(金)

請願提出締切日(予定) ●11月25日(金)

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。



が短時間で集
1台分のゴミ
が、トラック
は少ない」と
言われました
影響で「ゴミ
今年は大雨の
加させていた
共も有志で参
加する中、私
の釣りが参
加する中、私
加さる中、私
だきました。
今年は大の
影響で「ゴミ
は少ない」と
言われました
が、トラック
1台分のゴミ
が短時間で集

編集後記

秋も深まり見事な紅葉の時期となりました。

10月1日にはミライ桂川が主催する蒼竜峡の清掃が行われ、桂川で釣りを行っている多くの県内外

まり、その多さにビックリしました。参加された皆さまの「桂川をきれいな川にしよう」とする思いに改めて感謝申し上げます。

さて、議会では例年、議会報告会を行ってききましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年も開催することが出来ませんでした。そこで本年は「市民アンケート」を行うことになりましたのでご協力をお願いいたします。

また、議会では議会改革特別委員会ICIT化小委員会でタブレット端末導入について13回の会議を開催し、調査研究を重ね導入することになりましたのでご報告いたします。12月定例会より使用する予定です。今後災害時にも活かせるよう活用してまいります。

市民の皆さまにより身近に議会を感じてもらうため、議会傍聴を行っておりますので、皆さまの傍聴を心よりお待ちしております。

恥ずかしくないよう、議員一同も活発な議論を交わし、市民の皆さまのお役に立つよう日々精進してまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

編集委員 藤江 喜美子

- 議会だより編集委員会
- 委員長 天野 利夫
 - 副委員長 谷垣 喜一
 - 委員 藤江喜美子
 - 委員 小澤 眞
 - 委員 小林 健太